

高校生記者が取材しました!

地域に息づく学生パワー!

～広がるまちづくり活動と地域の「環」～



「もっこり祭」はみんなが笑顔になるお祭りです

北区には、大学や短大が多く、夢や希望に燃えるたくさんの方が暮らしています。今月は、勉学に励みながら、自分たちが住む地域のまちづくりに積極的に参加している学生とその活動を、札幌篠路高校新聞局員が紹介します。



まちづくり活動への思いを語る風呂田会長(左)

まず私たちが取材に向かったのが、九月十九日に鉄西地区で行われた「札幌もりもり!! もっこり祭」です。この祭りは、地域と協力しながら、この地区を盛り上げようと、北海道大学の学生を中心に組織している「鉄西まちづくり学生推進委員会」が主催しているもので、今年で三回目になります。

「鉄西まちづくり学生推進委員会」の「もっこり祭」の第一の故郷をつくらせ!

顔が励みになりますね」と語ります。風呂田会長の真剣なまなざしには、単に自分たちだけが楽しむのではなく、地域の人たちと一緒に、まちを盛り上げていきたいという強い思いを感じました。



「子どもと一緒に楽しみにしています」というお母さんの声や、「どんな活動して、このまちでの思い出を作ってほしいよ」といった地域の人の声など、取材中、どこで話を聞いても、学生への期待と信頼が感じられました。同時に、参加者がみんな笑顔になる、そんな祭りを支えている学生のパワーに驚きました。

(宗石知樹)



宗石記者(左)